

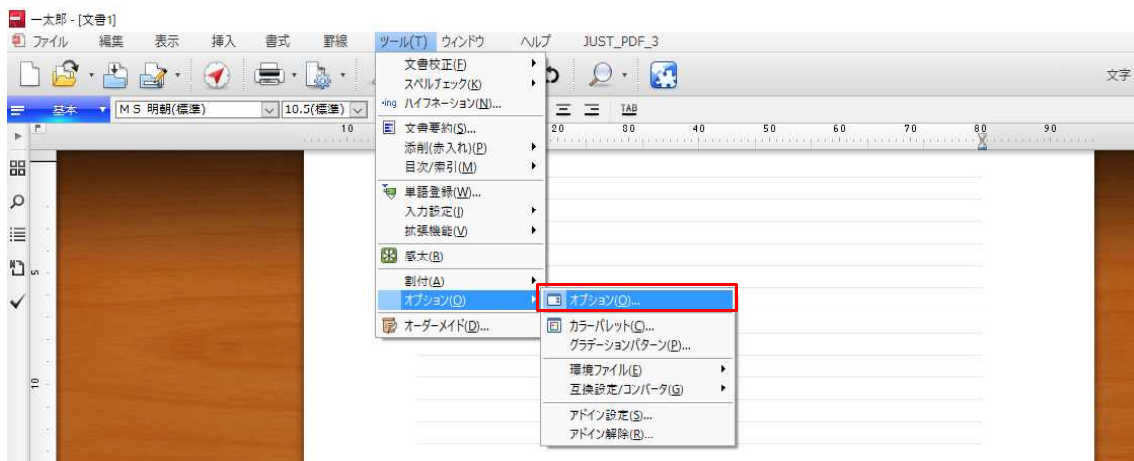
## 【一太郎 2018 編】

### 小説特有のルールに沿った文章の整形を自動化するマル秘テク

「地の文の行頭は 1 マス空ける」「会話文は行頭から括弧を書き始める」など、小説執筆では、特有のスタイルを意識する必要があります。一太郎 2018 で強化された入力アシスト機能を利用して自動的に文章を整えるよう設定しておくことで、執筆に集中しやすくなります。

#### ●入力アシスト機能を設定する

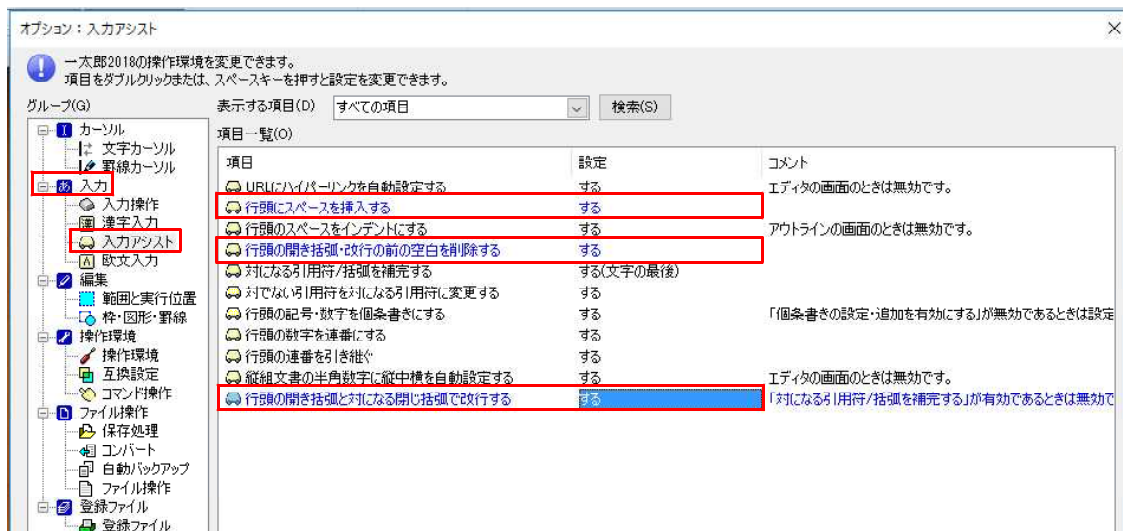
1. [ツールメニューオプション] を選択します。



2. 左側の [グループ] で [入力アシスト] を選択します。以下の項目で「する」を選択します。

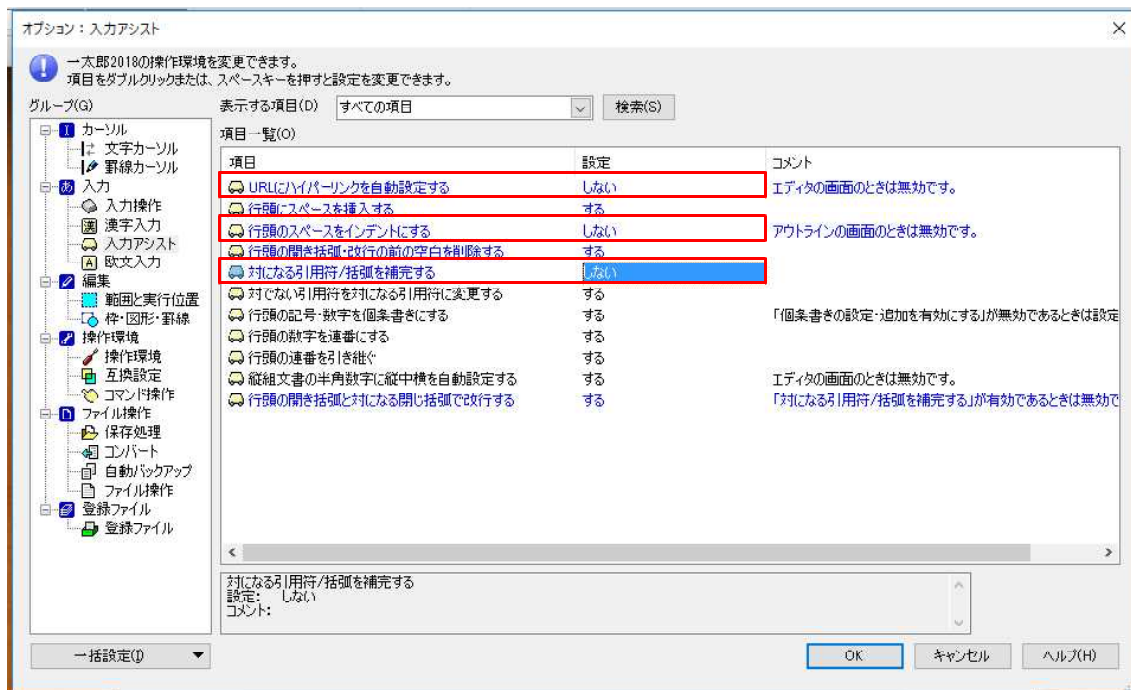
- ・ [行頭にスペースを挿入する]
- ・ [行頭の開き括弧・改行の前の空白を削除する]
- ・ [行頭の開き括弧と対になる閉じ括弧で改行する]

※ [対になる引用符/括弧を補完する] が「する」のときは無効です。

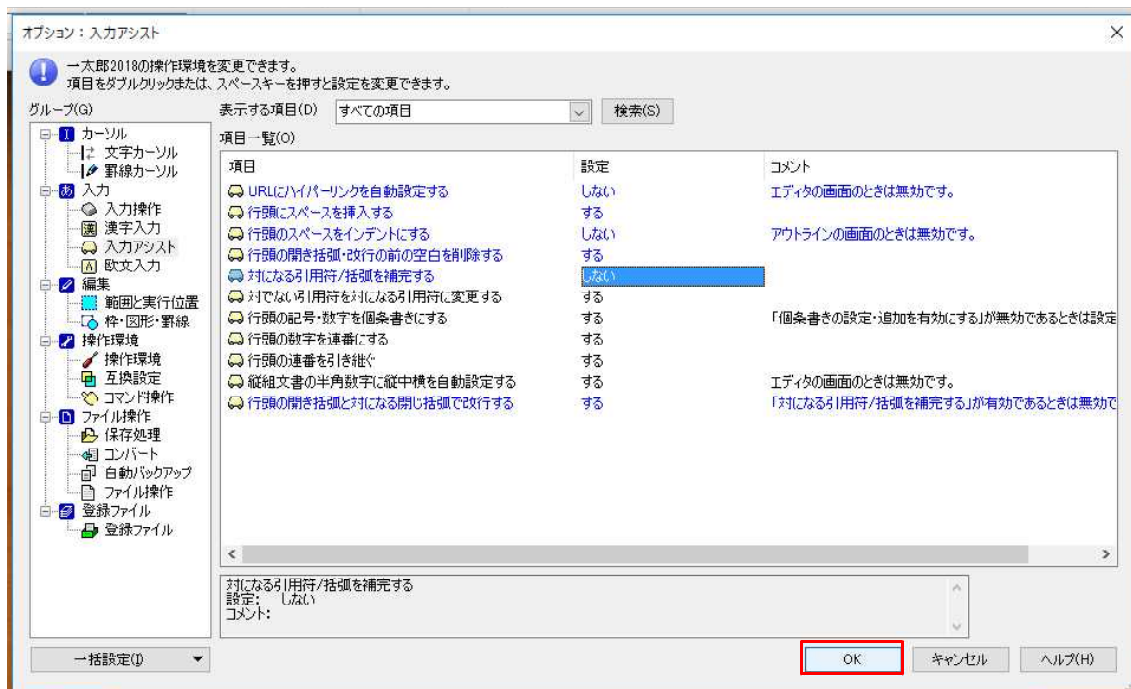


3. 執筆時に入力アシストが不要な項目があれば「しない」を選択します。たとえば、次の項目は、初期設定で「する」が選択されています。

- ・ [URL にハイパーリンクを自動設定する]
- ・ [行頭のスペースをインデントにする]
- ・ [対になる引用符/括弧を補完する]

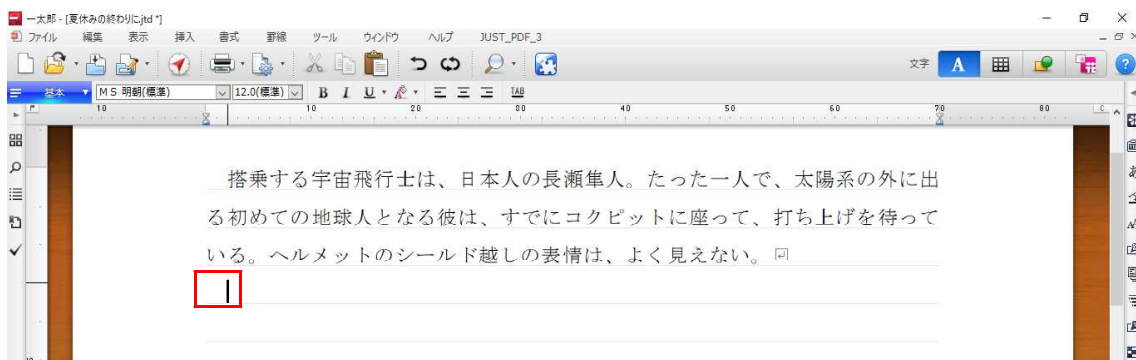
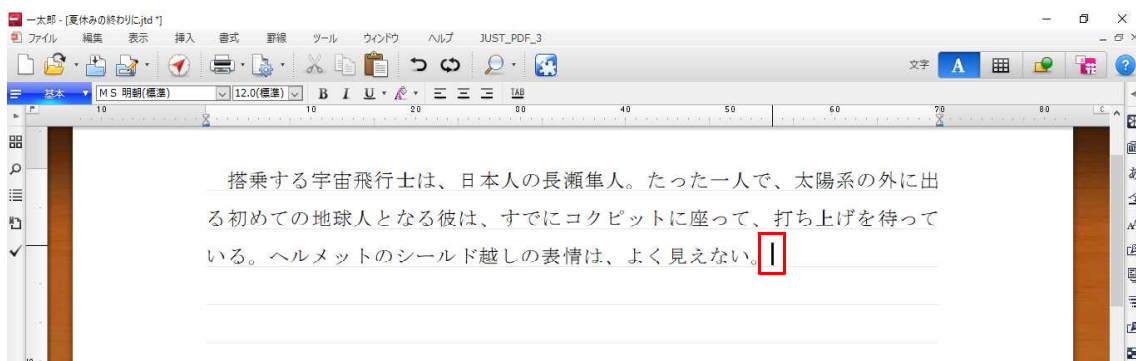


4. [OK] をクリックします。

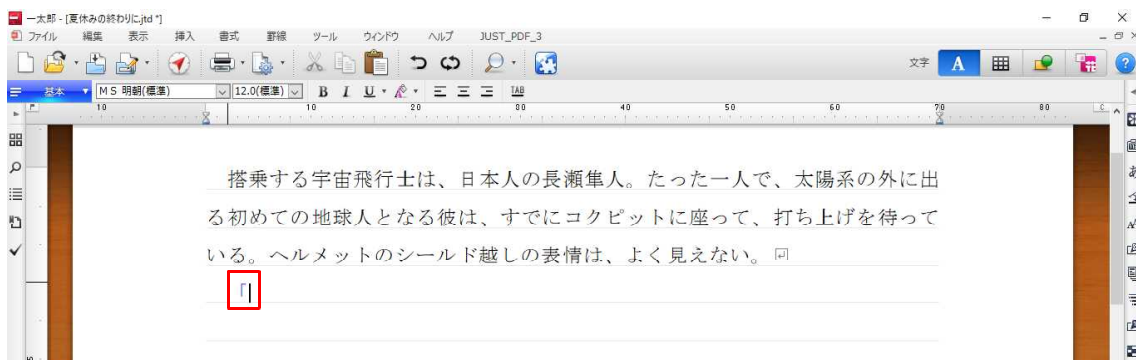


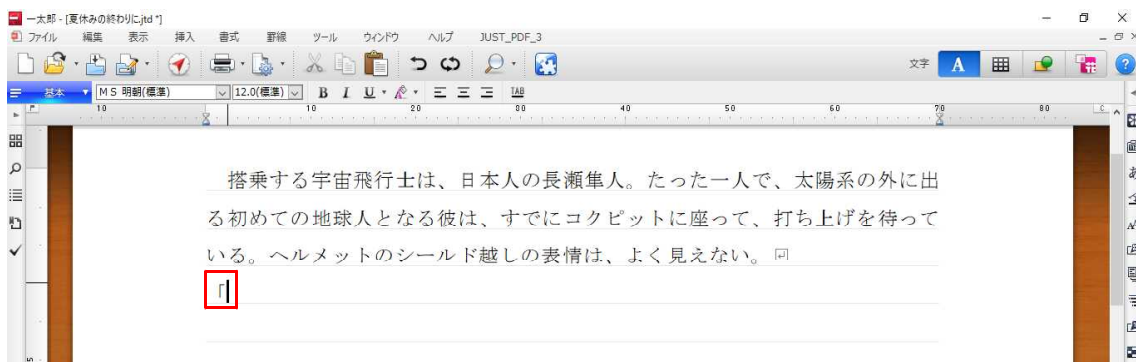
## ●設定した入力アシスト機能を確認する

1. [Enter] キーを押して改行すると、自動的に行頭に全角スペースが挿入されます。（文章の先頭は空白を入れて一文字分空けるルール）

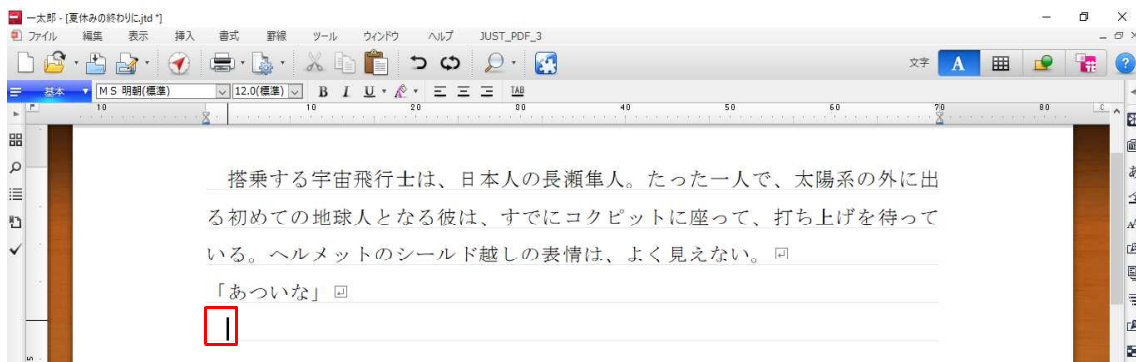
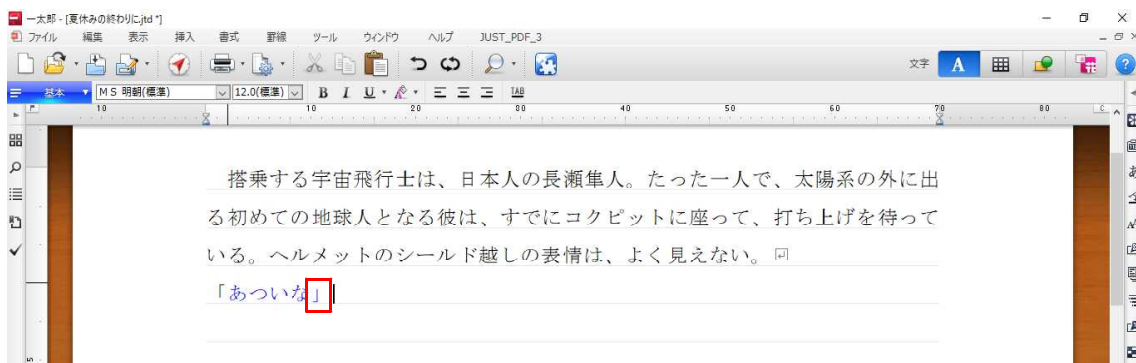


2. 行頭にスペースが入っている状態で、開き括弧（「）を入力、確定すると、自動的に行頭のスペースが削除されます。（会話文は空白を入れずに行頭から括弧を書くルール）





3. 行頭の括弧と対になる閉じ括弧を入力、確定すると、自動的に改行され、行頭にスペースが挿入されます。カーソルが自動的に次行の行頭に移動するので、文章をスムーズに書き進められます。



入力アシスト機能を一時的にオフにしたいときは、[F2] キーを押すと機能を無効にできます。再度 [F2] キーを押すと有効になります。

